

## 令和 2 年 9 月第 3 回定例都議会 討論全文

都議会において「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催と成功に関する決議に関して」の討論を、都民ファーストの会東京都議団を代表してやらせて頂きました。  
この内容が、まさに今の私の考え方であり、都民ファーストの会の考え方です。

私は、都民ファーストの会東京都議団を代表して、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催と成功に関する決議」に、賛成する立場から討論をいたします。

東京 2020 大会は、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延の影響を受けて、1 年延期されました。

我が会派は、先の代表質問において、1920 年のアントワープ大会が、第一次世界大戦からわずか 2 年、またスペイン風邪の流行後という状況の中、戦火のひどかったベルギーで開催されたことから、世界の「連帯と復興」の象徴となったことを示し、東京 2020 大会は、それから 100 年後の大会であり、コロナ禍においてオリンピック・パラリンピックを開催する意義を、今一度明らかにする必要があると指摘したうえで、透明性の高い手続のもとで関係機関との協議を進め、1 年延期・新型コロナ対策など多くの課題を乗り越え、合理的な費用負担のもと安全・安心なオリパラ大会を実現すべき、との我が会派の主張について、知事の見解を伺いました。

1 年延期とされた東京 2020 大会は、安全・安心な環境を提供することを最優先課題とし、費用を最小化しながらも、アスリートや子供たちなどの期待を踏まえ、都民・国民から理解と共感を得られる形で開催につなげていくことが極めて重要と考えます。

アスリートはもちろん・観客・大会関係者の全ての皆様にとって、安全・安心な環境を提供するためには、新型コロナウイルス感染症について万全の対策を講じる必要があります。

東京都では、我が会派の要望も踏まえ、都民の皆様の生命と暮らしを守るため、感染拡大防止や経済対策等、補正予算の編成も含めた様々な対策が実施され、国においては、イベントの人数制限緩和等も進んでいるところですが、世界各国においても、欧州での 3,000 km を走り抜けたツール・ド・フランスやサッカーリーグ、アメリカでは大リーグや NBA、日本での相撲など、感染防止対策を講じながらスポーツイベントが再開されており、無観客であっても全米オープンテニスでの大阪なおみ選手の活躍などが全世界の注目を集めたように、コロナ禍のもとにおいて「スポーツの力」で人々に勇気と希望をもたらしてくれています。

これらの知見も参考に、東京 2020 大会の開催に当たっては、国による水際対策、競技運営、選手村、ボランティア、感染者発生時の対応など、多くの課題について、関係機関との着実な連携のもとで解決し、人類の危機を乗り越えた象徴としての大会を目指すべきです。

また、一年延期の中で、都民の皆様の理解と共感を得られる形での大会開催につなげるためには、不透明な招致経緯や大会経費の膨張などこれまで指摘されてきた課題も踏まえれば、より透明性を確保しつつ、すべての分野と対象に効率化とコスト削減を図り、延期やコロナ対策における追加費用の最小化を実現するとともに、その追加費用の分担は適切なものでなければなりません。

我が会派と都議会公明党の皆様との提案により、令和2年第一回定例会において「東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会に係る文書等の保管及び承継に関する条例」を可決成立させましたが、都に対しては、IOC、IPC、国、組織委員会など関係者との間で透明性を確保しつつ進め、都民・国民の共感を得られるように尽力していただくことを改めて要望しておきます。

最後に、この東京 2020 大会は、当初「2011 年の東日本大震災からの復興」を示す大会として、また、「成熟した都市東京の姿」を示す大会として、その意義をアピールしてきました。

それらに加え、私たち都民ファーストの会東京都議団は、冒頭申し上げたアントワープ大会の例のように、新型コロナウイルス感染症を克服し乗り越えていき、世界の絆による希望の大会となるよう、全力で取り組んでいくことをお約束し、賛成討論を終わります。